

高等教育コンソーシアムみえ News

三重創生ファンタジスタ養成、高等教育コンソーシアムみえ及び各構成機関の情報誌です！

三重創生ファンタジスタオリジナル科目 三重学 食と観光実践 (学生レポート編)

後期集中講義「三重学（食と観光実践）」が始まりました。学生によるレポートをリレー式でご紹介します。

【鈴鹿大学 国際地域学部3年 黄崇銘さん：台湾留学生】

今回、合同授業の参加が初めてで、今までずっと大学内だけで授業を受けてきたので、最初はかなり緊張していた。自分以外は、ほぼ日本の学生さんで、上手くコミュニケーションが取れるかどうか心配していた。幸い同じ班のメンバー達が優しく、グループワークの時も、現地調査も順調に進んでものすごく心強いつ感じました。現地調査をする時は、チーム全員で先生達からももらった情報を活かしつつスマホで現地の観光情報を調べて、お互い協力し合って、無事に予定のプランを実現することが出来た。そして、現地の業者達とも交流できて、観光プランの作成に役立つ情報ももらえて、ここまで快適に進めるとは、予想できなかった。チームメンバーと先生達のおかげで、地域の観光プランは勿論、日本についても新しい経験ができて、ものすごくありがたいと感じている。



写真:流暢な日本語で
プレゼンする様子

していた3ステージを全てクリアしたいと、何度も足を運んで下さる方もいらっしゃいました。長い時間をかけて準備してきた企画に、多くの方が興味を持ってくださったことが非常に嬉しかったです。



写真:企画の様子

「謎解き」は、当日まで部員にも公表されておらず、非常に難しい内容でした。

来年度の企画については、謎解きのリベンジをしたいとの声を参加された方からいただいておりますが、ミーティングや各プロジェクトの活動の中で、おけけ屋敷を作りたいという部員や、飲食物の提供をしたいという部員もいます。まだ何をするかは決定していませんが、来年度は、今年度のよかったことや反省を生かして、さらに多くの方に楽しんでもらえる企画をしたいです。

【三重大学 工学部2年 鈴木健太さん】

三重大学では11月5日と11月6日に第74回三重大学祭が開催されました。私は三重大学祭実行委員として頑張りました。具体的な活動は10月に入った頃から始まり、総勢100人を超える実行委員が様々な担当へ分かれます。例えば、物産担当、広報担当、協賛担当などです。その中でも私はスポーツ企画担当でした。今年のスポーツ企画ではサッカー、バレー、バスケの大会を運営しました。各担当毎日遅い時間まで頑張りました。そして迎えた2日間に渡る本祭当日では、1日目211人、2日目329人、合計540人という多くの方にお越しいただいて大成功で終わることが出来ました。この日に向けて頑張ってきた実行委員のみんなや、オーバーレコード株式会社の方、自治会の方など、多くの方々のおかげです。ありがとうございました。

第74回三重大学祭が開催されました (学生レポート編)



写真:三重大学祭 入場ゲート

【三重大学 人文学部2年 辻悠花さん】

MSFC（三重創生ファンタジスタクラブ）は、学術企画として、折り紙をテーマとし、三重県に関する内容も盛り込んだ「謎解き」をしました。謎解きは近年急激に人気が高まっていることもあり、2日間で120名ほどの方が来て下さいました。

今回一番楽しかったことは、一般的な祭りと同じように、模擬店やキッチンカーで食べ物や飲み物を買いながら会場を歩けたことです。昨年度は学生の飲食物の販売が禁止されており、1~3年生にとっては初めての経験でした。また、用意



写真:メインステージに
上がるアイドル

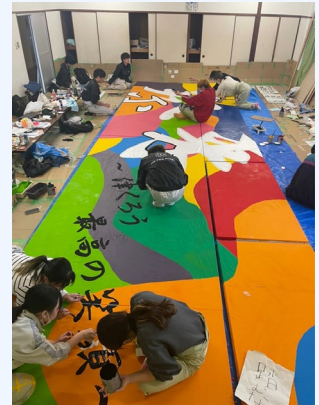


写真:サブステージを
作成する実行委員の様子

高等教育コンソーシアムみえ News

三重創生ファンタジスタ養成、高等教育コンソーシアムみえ及び各構成機関の情報誌です！

第19回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラムの分科会にて事業報告を行いました！

10月15日(土)・16日(日)に、東京都八王子市の東京たま未来メッセで開催された全国大学コンソーシアム研究交流フォーラムの2日目の分科会にて、コンソーシアムみえとして令和元年度から3年間にわたり行ってきた三重県からの委託事業「ダイバーシティ推進事業」についての報告を行いました。

- ◆テーマ：高等教育機関でのダイバーシティ推進
「高等教育コンソーシアムみえのダイバーシティ推進活動報告」
(高等教育コンソーシアムみえ 田中貢 地域活性化推進コーディネーター)
- 「LGBT等マイノリティ政策について」
(四日市大学：小林 慶太郎教授)
- 「幼児教育現場におけるダイバーシティ」
(ユマニテク短期大学：田村禎章准教授)



写真：分科会の様子

活動報告では、はじめに、田中コーディネーターからダイバーシティに係る公開講座等について高等教育コンソーシアムみえにおける取組の紹介があり、受講した学生からの感想等のアンケートの結果に触れた上で、「ダイバーシティに関する意識の浸透のためには、多様なテーマからの繰り返しのアプローチが必要である。」とまとめられました。

続いて、小林教授から「LGBT等」の定義を確認した上で、三重県や高等教育コンソーシアムみえ、四日市大学のダイバーシティにおける「LGBT等」に関する取組について紹介されました。「LGBTに限らず、何らかのマイノリティ性を抱えている学生さんはおそらく今後も増える一方」と述べられた上で、「そうした時こそコンソーシアムでそれぞれの知識を共有し、協働していくことで、各高等教育機関がより学生のためになる高等教育機関へとバージョンアップすることができるのではないか。」とまとめられました。

最後に田村准教授から、幼児教育を学ぶ学生へのディスカッションを主とした授業や、実際に教育現場で活躍している先生方への公開講座を実施した結果について報告がありました。

分科会を訪れた方からは、他のコンソーシアムに所属の高等教育機関から「次回のFD/SDのテーマをダイバーシティにしようと思った。」などのご意見をいただきました。

「ダイバーシティ推進事業」をコンソーシアムみえで連携して行えたことにより、単体の大学では難しいテーマに取り組むことができました。今後もコンソーシアムみえは、より良い連携体制を目指していきます。

第2回松阪カルチャーストリートを見学（学生レポート編）

【三重大学 教育学部4年 藤田梨緒那さん】

2022年11月20日(日)に三重県松阪市の魅力を芸術の力で再発見しながら楽しむイベントに参加しました。今回、松阪でお話を聞いたり見学をし「実際に見る」ことの大切さを改めて教えていただきました。子どもたちに三重県の魅力や、その物や人と出会ったときのワクワクを伝えるためには、やはり自分自身が深く知っておく必要があるということ学びました。私は今まで、「かみしばいクエスト」のプロジェクトを通して、子どもたちが三重県の良さを楽しくたくさん知ることによって地域に愛着や誇りを持てるようになってほしいという想いで活動してきました。三重の魅力をより多くの子もたちが、楽しくたくさん発見できるようなワクワクする紙芝居を、これからも仲間と一緒に作ってきたいです！！



写真：旧小津家清左衛門家館長との懇談の場

令和4年度「みえまちキャンパス」（高田短期大学）を開催します！

2023年2月16日(木)に、高田短期大学で「みえまちキャンパス」を開催します。

開催にあたり、活動発表団体の募集をします。

近日中に高等教育機関コンソーシアムみえHPへ募集案内を掲載しますので、下記URLをご確認ください。

<https://conso-mie.jp/information/>

皆さまのご参加をお待ちしています！

発行元：高等教育コンソーシアムみえ 事務局
連絡先：059-231-9969

下記の機関で三重創生ファンタジスタの養成をしています。

三重大学、四日市大学、皇學館大学、鈴鹿大学・鈴鹿大学短期大学部、鈴鹿医療科学大学、三重県立看護大学、四日市看護医療大学、三重短期大学、高田短期大学、ユマニテク短期大学、鈴鹿工業高等専門学校、鳥羽商船高等専門学校、近畿大学工業高等専門学校、三重県

